

企業紹介

顧客の信頼を得るため 品質向上に努める

TR 有限会社 テクノラバー

代表取締役 鶴巻 弘志
〒950-0206 新潟市江南区木津1丁目8番10号
TEL 025-385-2971 FAX 025-385-3092
<http://www.techno-rubber.co.jp/>

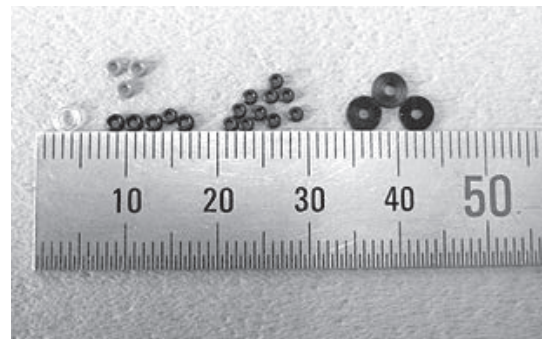
業 種：製造業
資 本 金：1,000万円
事業内容：ゴム製部品・抜きプレス・抜き型製造

高品質のゴム製部品を製造する(有)テクノラバー。極小サイズの製品を得意としており、車のラジエーターや油圧関係部品など様々な製品の部品として世界中で活躍している。新潟県で作られた小さな製品は、今後も広く世界で活躍していく。

小さなゴム製品のスペシャリスト

同社は、鶴巻弘志社長がゴムの金型メーカー業務経験を活かしたいと一念発起し、平成2年に創業した。工業用ゴム製品を中心に、Oリングやガスケット（気密性、液密性を上げるため用いる固定用シール材）など、機械に欠かせない製品を製造。さらに、同社が得意とする小さな部品は品質が優れていると絶大な支持を得ている。

近年は、抜きプレスや抜き型などの関連機械の設計も行うなど業容を拡大している。

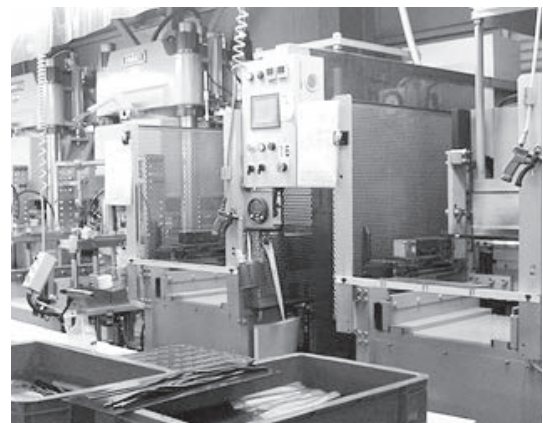


▲同社商品の一例

1/100単位の寸法公差

同社の強みは高品質な製品をつくる技術力にある。その確かな技術で、肉眼では確認が困難な穴の小さいリング（0.5mm程）や、まるで髪の毛ほどに輪が細いリング（0.25mm程）も製造する。加えて精度（寸法公差）も、Oリングは $\pm 0.02\text{mm}$ 、ガスケットは $\pm 0.03\text{mm}$ と、JIS規格（ $\pm 0.1\sim 0.07\text{mm}$ ）に比較してより正確に製造できる。

同社は、品質を高めるため設備にもこだわっている。機械の生産性を常に見直し、設備の改良や社内生産体制の改善を徹底。その取組の一貫で、近年導入した自社設計の抜き型機械は、周囲の設備との相性が抜群で生産性を向上させている。



▲高い生産性をもたらす自社設計の設備

新潟県から世界へ

創業以来、他社の技術に追いつけ追い越せと切磋琢磨し続けてきた同社。「品質方針」には、社長の強い思いと同社の取組姿勢が表れており、鶴巻社長も「安定した品質が信頼につながっている」と熱く語る。

現在、同社がつくる部品は、車のラジエーターや油圧関係部品など様々な製品の部品として世界中で活躍している。今後も、同社の品質への情熱は変わることはない。新潟県から世界のものづくりを支えていく。

品質方針

顧客の信頼を得るために、品質向上に努める

- 1 技術・品質面で、絶えず向上心を持って
自助努力する
- 2 製造機械を社内にて改良するための
知識・能力を持つ
- 3 社内にて使用する機械や治工具は、
社内にて考え設計し製作する
- 4 出来ない言い訳より、どうしたら出来る
かを1つでも考える

2012年10月20日

▲自社の品質方針